



2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年6月11日

上場会社名 株式会社ネオジャパン 上場取引所 東
 コード番号 3921 URL <https://www.neo.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 齋藤 晶議
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 常盤 誠 (TEL) 045-640-5917
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年1月期第1四半期の連結業績(2026年2月1日~2026年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	2,077	4.1	683	6.2	713	9.0	487	9.0
2026年1月期第1四半期	1,996	18.3	644	47.6	654	39.6	447	41.7

(注) 包括利益 2027年1月期第1四半期 525百万円(39.8%) 2026年1月期第1四半期 376百万円(12.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	34.78	—
2026年1月期第1四半期	31.97	31.91

(注) 2027年1月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期第1四半期	10,366	7,573	73.0
2026年1月期	10,693	7,482	69.9

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 7,565百万円 2026年1月期 7,474百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	21.00	—	31.00	52.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期(予想)	—	27.00	—	27.00	54.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年1月期の連結業績予想(2026年2月1日~2027年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,619	4.7	2,680	7.3	2,742	5.1	1,876	3.7	133.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2027年1月期1Q	14,087,600株	2026年1月期	14,087,600株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2027年1月期1Q	69,727株	2026年1月期	69,727株
------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2027年1月期1Q	14,017,873株	2026年1月期1Q	13,993,868株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財務状態の概況	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等の注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	11
(収益認識関係)	11
(重要な後発事象)	12

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、企業収益及び雇用・所得環境が改善する下で、景気は緩やかに回復基調で推移いたしました。景気の先行きについては、緩やかな回復が継続していくことが期待されますが、中東情勢、物価上昇や米国の通商政策、金融資本市場の変動に加え、半導体不足による供給制約等の影響には注意が必要な状況となっております。

当社グループが属するIT業界におきましては、ソフトウェア投資は増加傾向にあり、企業収益の改善や人手不足等を背景に、今後もITへの投資は堅調に推移することが期待されます。その反面、AI技術の急速な進歩がもたらす製品・サービスの競争環境は一段と激化しており、各社の対応力が問われる局面を迎えております。

このような状況の中、desknet's NEOにつきましては、当第1四半期連結累計期間においてバージョンアップは実施しておりませんが、2026年5月リリースのバージョンアップに向けた取り組みを進めました。

AI関連分野においては、「neoAI Chat for desknet's」の販売及び活用支援を推進するとともに、AIエージェント関連サービス「LiveX AI」の展開を進めてまいりました。こうした取り組みの一環として、2026年3月にはZETA株式会社及びLIVEX AI Inc.との3社間において、AIを活用した実店舗におけるCX向上及びリテールメディア市場創出に向けた業務提携を締結するなど、幅広い領域におけるAI活用を推進しております。また、2026年2月には、ブレインズテクノロジー株式会社との間で生成AI活用が可能な全文検索システムの提供開始に関する業務提携を締結し、desknet's NEOと複数のリポジトリから高度なキーワード検索が可能な全文検索技術を連携することで、業務効率化及びナレッジ活用の高度化に向けた取り組みを進めております。

2026年4月に「ITreview」が主催する「ITreview Grid Award 2026 Spring」において当社主力3製品がそれぞれ5部門で最高位である「Leader」を受賞いたしました。desknet's NEOは2019年の受賞以来、今回の受賞で28回連続での受賞となりました。

また、2026年3月に経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人 2026（大規模法人部門）」に認定されました。「健康経営優良法人」は7年連続の認定となります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は2,077,778千円（前年同期比4.1%増）、営業利益は683,943千円（前年同期比6.2%増）、経常利益は713,308千円（前年同期比9.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は487,604千円（前年同期比9.0%増）と堅調に推移いたしました。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア事業)

ソフトウェア事業は、当社と子会社であるDELGUI Inc.が展開する事業で構成されております。

売上区分別の状況は以下のとおりであります。

売上区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)		
	売上高 (千円)	構成比 (%)	売上高 (千円)	構成比 (%)	増減率 (%)
クラウドサービス	1,029,379	68.7	1,136,956	71.9	10.5
プロダクト	438,808	29.3	426,194	27.0	△2.9
技術開発	31,200	2.0	18,000	1.1	△42.3
合計	1,499,387	100.0	1,581,151	100.0	5.5

① クラウドサービス

クラウドサービスの主要サービス別の売上は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)	増減額 (千円)	増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)		
desknet's NEOクラウド (*1)	856,486	929,954	73,467	8.6
AppSuiteクラウド (*1)	86,404	117,658	31,253	36.2
ChatLuckクラウド (*1)	22,686	26,488	3,801	16.8
その他月額売上	42,809	50,852	8,042	18.8
月額売上合計	1,008,387	1,124,953	116,565	11.6
その他役務作業等	20,992	12,003	△8,988	△42.8
クラウドサービス合計	1,029,379	1,136,956	107,577	10.5

(*1) セットプランにつきましては、既存プラン価格に基づき各サービスに按分した金額を集計しております。

desknet's NEOクラウド版の売上高は、セットプラン利用ユーザー数の増加により前年同期比73,467千円増加し、929,954千円（前年同期比8.6%増）となりました。当第1四半期連結会計期間における増加ユーザー数は、概ね前年同期と同水準で推移しており、同サービスの1社当たりの平均利用ユーザー数は87ユーザーとなっております。また、月平均の解約率(*2)は0.21%となっており、前年同期の月平均解約率0.38%より改善しております。今後も引き続き解約率を低い水準に維持できるよう取り組んでまいります。

AppSuiteクラウド版の売上高は、利用ユーザー数の増加により前年同期と比較して31,253千円増加し、117,658千円（前年同期比36.2%増）と大幅な増加となりました。スタンダードプラン(*4)の売上が堅調に推移したこともあり、当第1四半期連結会計期間末時点において同サービスの利用ユーザー数は、desknet's NEOクラウドのユーザー数の約21%と前年同期から約4%増加しております。今後もセットプランの訴求を高め利用ユーザー数の拡大に努めてまいります。

ChatLuckクラウド版の売上高につきましては、前年同期と比較して3,801千円増加し、26,488千円（前年同期比16.8%増）となりました。売上高全体に占める割合は小さいものの、成長が見込める分野であることから継続的に機能強化に取り組み、desknet's NEOとの同時利用ユーザー数の拡大に努めてまいります。その他月額売上につきましては、主に主要サービス以外の個別案件の増加により前年同期と比較して8,042千円増加の50,852千円（前年同期比18.8%増）となりました。その他役務作業等の売上高につきましては、データ移行サービス等が減少したことにより8,988千円減少し、12,003千円（前年同期比42.8%減）となりました。

以上の結果、クラウドサービス全体での売上高は前年同期比107,577千円増加し、1,136,956千円（前年同期比10.5%増）となりました。

(*2) desknet's NEOクラウドのユーザーにおける「当月の解約により減少したMRR(*3)÷前月末のMRR」の当第1四半期連結累計期間の平均で算出しております。

(*3) MRR (Monthly Recurring Revenue)は対象月の月末時点における継続課金ユーザーにかかる月額料金、もしくは年額料金の1/12の合計額で算出しております。

(*4) desknet's NEOクラウド版とAppSuiteクラウド版を併用可能なセットプラン

② プロダクト

プロダクト（オンプレミス型ライセンス及び関連役務等）の主要製品別の売上高は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)	増減額 (千円)	増減率 (%)
	売上高 (千円)	売上高 (千円)		
desknet's NEO	54,394	41,095	△13,299	△24.4
AppSuite	29,723	24,367	△5,356	△18.0
ChatLuck	3,740	6,366	2,625	70.2
その他ライセンス売上	2,481	2,356	△124	△5.0
ライセンス売上合計	90,339	74,185	△16,154	△17.9
サポートサービス	263,914	276,937	13,023	4.9
カスタマイズ	27,302	31,310	4,008	14.7
その他役務作業等	57,252	43,761	△13,491	△23.6
プロダクト合計	438,808	426,194	△12,614	△2.9

desknet's NEOライセンスの売上高につきましては、前年同期と比較して1,000ユーザー未満の新規・追加ライセンスが増加した一方、1,000ユーザー超の中規模以上のライセンスが減少したことを主な要因として13,299千円減少し、41,095千円（前年同期比24.4%減）となりましたが、おおむね当初の計画通りに推移しております。

AppSuiteライセンス及びChatLuckライセンスにつきましては、desknet's NEOライセンスとの同時購入をされることが多い傾向にあります。

AppSuiteのライセンス売上高につきましても、desknet's NEOライセンスと同様に前年同期と比較して1,000ユーザー超の中規模以上のライセンスが減少したことを主な要因として5,356千円減少し、24,367千円（前年同期比18.0%減）となりましたが、おおむね当初の計画通りに推移しております。

ChatLuckライセンスの売上高につきましては、前年同期と比較して5,000ユーザー以上の大規模新規ライセンスが増加したことを主な要因として前年同期比2,625千円増加し、6,366千円（前年同期比70.2%増）となり、おおむね当初の計画通りに推移しております。

サポートサービスの売上高は、前年同期比13,023千円増加し、276,937千円（前年同期比4.9%増）となりました。これは主に、desknet's NEOのサポートサービスの売上高が前年同期比8,461千円増加し、225,494千円（前年同期比3.9%増）となったことによるものであります。また、カスタマイズの売上高につきましては、前年同期と比較して中規模の案件が増加したことを主な要因として、前年同期比4,008千円増加し、31,310千円（前年同期比14.7%増）となりました。また、その他役務作業等の売上高は、他社製品であるID統合管理システムの販売及び役務作業の減少を主な要因として、13,491千円減少し43,761千円（前年同期比23.6%減）となりました。

以上の結果、プロダクト全体での売上高は前年同期比12,614千円減少し、426,194千円（前年同期比2.9%減）となりました。

③ 技術開発

技術開発につきましては、積極的に受託開発を行う方針ではなく、主に従来からの継続案件の売上減少により、売上高は前年同期比13,200千円減少し、18,000千円（前年同期比42.3%減）となりました。

以上の結果、ソフトウェア事業の売上高は1,581,151千円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は695,145千円（前年同期比6.5%増）となりました。

(システム開発サービス事業)

システム開発サービス事業は、子会社である株式会社Pro-SPIREが展開する事業で構成されており、同社が長年培ってきたクラウドインテグレーション、システムインテグレーションのノウハウを基礎に技術者の育成を図り、先端技術を活用し新たな顧客ニーズを満たすシステムエンジニアリングサービスを主に提供しております。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、既存取引先のプロジェクト規模拡大などにより前年同期と比較して11,769千円増加し494,125千円(前年同期比2.4%増)となりました。売上原価は人員増に伴い人件費が増加した一方、外注費を削減したことなどにより全体で528千円減少いたしました。また、販売費及び一般管理費は、営業体制の強化による人件費の増加等により前年同期比9,982千円増加いたしました。

以上の結果、システム開発サービス事業の売上高は494,125千円(前年同期比2.4%増)、セグメント利益は12,745千円(前年同期比22.2%増)となりました。

(海外事業)

海外事業は、ASEAN地域の海外子会社3社の事業で構成されており、現地企業向けにdesknet's NEO及びAppSuiteのクラウドサービスの提供を中心に行っております。

海外事業においては、営業人員の育成による営業力強化、展示会への出展による認知度向上、販売代理店の開拓及び日系企業コミュニティへのアプローチ等に努めております。また、フィリピン子会社及びタイ子会社において前期に実施したマネジメント体制の変更、営業人員増強及びASEAN子会社間での協力体制の強化等の効果もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期と比較して2,922千円増加し20,608千円(前年同期比16.5%増)となりました。今後も引き続き現地企業への浸透に注力してまいります。

以上の結果、海外事業の売上高は20,608千円(前年同期比16.5%増)、セグメント損失は24,077千円(前年同期はセグメント損失19,362千円)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財務状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は前連結会計年度末より326,946千円減少し、10,366,590千円となりました。これは主に、一部顧客の回収条件の改善等により売掛金及び契約資産が225,704千円減少したことに加え、配当金の支払、法人税等の支払などにより現金及び預金が188,637千円減少した一方、前払費用等の増加により流動資産のその他が41,162千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は前連結会計年度末より418,113千円減少し、2,793,360千円となりました。これは主に、法人税等の納付を主な要因として未払法人税等が310,339千円減少、未払費用の減少を主な要因として流動負債のその他が97,187千円減少、賞与引当金が63,591千円減少した一方で、クラウドサービス、サポートサービス等の契約負債が104,062千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は前連結会計年度末より91,166千円増加し、7,573,230千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益が487,604千円計上された一方で、434,554千円の剰余金の配当を実施したことにより利益剰余金が53,050千円増加したこと、その他有価証券の時価評価の結果その他有価証券評価差額金が32,847千円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2026年3月11日付「2026年1月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において公表いたしました通期の連結業績予想から修正は行っておりません。

なお、連結業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,426,616	6,237,978
売掛金及び契約資産	994,526	768,822
有価証券	180,562	193,618
貯蔵品	1,043	812
その他	148,650	189,812
貸倒引当金	△4,193	△4,090
流動資産合計	7,747,205	7,386,952
固定資産		
有形固定資産	184,610	181,383
無形固定資産		
のれん	50,714	47,256
その他	269,699	281,689
無形固定資産合計	320,414	328,946
投資その他の資産		
投資有価証券	1,715,837	1,758,179
その他	726,323	712,119
貸倒引当金	△855	△991
投資その他の資産合計	2,441,306	2,469,307
固定資産合計	2,946,331	2,979,637
資産合計	10,693,537	10,366,590

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	153,438	142,603
未払法人税等	546,514	236,175
契約負債	1,396,297	1,500,359
賞与引当金	160,663	97,071
その他	520,625	423,437
流動負債合計	2,777,539	2,399,648
固定負債		
退職給付に係る負債	406,374	390,624
その他	27,560	3,088
固定負債合計	433,934	393,712
負債合計	3,211,473	2,793,360
純資産の部		
株主資本		
資本金	299,020	299,020
資本剰余金	293,538	293,538
利益剰余金	6,850,435	6,903,485
自己株式	△75,558	△75,558
株主資本合計	7,367,434	7,420,484
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	112,958	145,805
為替換算調整勘定	△5,612	△343
その他の包括利益累計額合計	107,346	145,462
非支配株主持分	7,282	7,282
純資産合計	7,482,063	7,573,230
負債純資産合計	10,693,537	10,366,590

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	1,996,382	2,077,778
売上原価	840,475	788,976
売上総利益	1,155,906	1,288,801
販売費及び一般管理費	511,870	604,857
営業利益	644,035	683,943
営業外収益		
受取利息	16,541	20,170
投資事業組合運用益	9,767	1,351
為替差益	-	6,927
その他	7,564	972
営業外収益合計	33,873	29,422
営業外費用		
支払利息	24	29
為替差損	21,081	-
その他	2,231	28
営業外費用合計	23,337	57
経常利益	654,572	713,308
税金等調整前四半期純利益	654,572	713,308
法人税等	207,207	225,704
四半期純利益	447,365	487,604
親会社株主に帰属する四半期純利益	447,365	487,604

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期純利益	447,365	487,604
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△67,460	32,847
為替換算調整勘定	△3,898	5,268
その他の包括利益合計	△71,358	38,116
四半期包括利益	376,006	525,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	376,006	525,720

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じることにより算定しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ソフトウェア 事業	システム開発 サービス事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,496,980	481,714	17,686	1,996,382	—	1,996,382
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,407	641	—	3,048	△3,048	—
計	1,499,387	482,356	17,686	1,999,430	△3,048	1,996,382
セグメント利益又は セグメント損失(△)	652,891	10,430	△19,362	643,959	76	644,035

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額76千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ソフトウェア 事業	システム開発 サービス事業	海外事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,577,837	479,331	20,608	2,077,778	—	2,077,778
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,313	14,793	—	18,107	△18,107	—
計	1,581,151	494,125	20,608	2,095,885	△18,107	2,077,778
セグメント利益又は セグメント損失(△)	695,145	12,745	△24,077	683,813	130	683,943

(注) 1. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額130千円はセグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	86,400千円	78,705千円
のれんの償却額	3,457〃	3,457〃

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	ソフトウェア事業	システム開発サービス事業	海外事業	
ストック収益(注1)	1,271,720	448,831	9,360	1,729,912
フロー収益(注2)	225,260	32,883	8,325	266,469
顧客との契約から生じる収益	1,496,980	481,714	17,686	1,996,382
外部顧客への売上高	1,496,980	481,714	17,686	1,996,382

(注) 1. ストック収益の主な内容は、以下のとおりであります。

セグメント	主な内容	収益認識時点
ソフトウェア事業、海外事業	クラウドサービス提供による利用料、パッケージソフトのサポートサービス料、ASPライセンス料等の収益	一定の期間
システム開発サービス事業	同一の取引先に対して、各決算期末の直前12か月以上継続して売上を計上している準委任契約、派遣契約(契約更新により12ヶ月以上のものを含む)による収益	一定の期間

2. フロー収益の主な内容は、以下のとおりであります。

セグメント	主な内容	収益認識時点
ソフトウェア事業、海外事業	パッケージ製品のライセンス料の収益	一時点
	製品カスタマイズなど請負契約、製品インストール作業・データ移行作業・教育等の役務作業による収益	一定の期間
システム開発サービス事業	ストック収益に該当しない準委任契約、派遣契約及び請負契約による収益	一定の期間

当第1四半期連結累計期間(自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	ソフトウェア事業	システム開発サービス事業	海外事業	
ストック収益(注1)	1,400,077	449,967	15,696	1,865,741
フロー収益(注2)	177,760	29,364	4,912	212,036
顧客との契約から生じる収益	1,577,837	479,331	20,608	2,077,778
外部顧客への売上高	1,577,837	479,331	20,608	2,077,778

(注) 1. ストック収益の主な内容は、以下のとおりであります。

セグメント	主な内容	収益認識時点
ソフトウェア事業、海外事業	クラウドサービス提供による利用料、パッケージソフトのサポートサービス料、ASPライセンス料等の収益	一定の期間
システム開発サービス事業	同一の取引先に対して、各決算期末の直前12か月以上継続して売上を計上している準委任契約、派遣契約(契約更新により12ヶ月以上のものを含む)による収益	一定の期間

2. フロー収益の主な内容は、以下のとおりであります。

セグメント	主な内容	収益認識時点
ソフトウェア事業、海外事業	パッケージ製品のライセンス料の収益	一時点
	製品カスタマイズなど請負契約、製品インストール作業・データ移行作業・教育等の役務作業による収益	一定の期間
システム開発サービス事業	ストック収益に該当しない準委任契約、派遣契約及び請負契約による収益	一定の期間

(重要な後発事象)

該当事項はありません。